第８回

台東区基本構想策定審議会

日時　平 成 ３ ０ 年 ４ 月 １ ２ 日

会場　台東区役所１０階１００２会議室

台 東 区 企 画 課

〇出席者	会　長	懸田　　豊	副会長	吉川　　徹
（２６人）	委　員	安島博幸	委　員	片山泰輔
	委　員	山谷修作	委　員	有村久春
	委　員	西　智子	委　員	伊藤正次
	委　員	太田雅久	委　員	本目さよ
	委　員	小坂義久	委　員	早川太郎
	委　員	秋間　　洋	委　員	河野雄太
	委　員	成田多恵子	委　員	守屋有晶
	委　員	山藤弘子	委　員	黒田　　収
	委　員	小田切満寿雄	委　員	早津司朗
	委　員	安倍　　智	委　員	佐々木　　聡
	委　員	牧田としみ	委　員	野坂羊子
	委　員	峯岸由美子	委　員	石原喬子

〇欠席者	委　員	宮崎牧子	委　員	石塚麻梨子
（４人）	委　員	二木忠男	委　員	冨士滋美

〇事務局	企画財政部長	佐藤徳久
	企画課長	前田幹生
	財政課長	酒井まり
	経営改革担当課長	福田健一
	情報システム課長	飯田辰徳

（午前１９時００分　開会）

１．開会

〇事務局

年度初めのお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。それでは会長、進行のほうをよろしくお願いします。

〇会長

本日はご多用の中お集まりいただきありがとうございます。第８回台東区基本構想策定審議会をこれより開会したいと思います。開会に際しまして、本日の配布資料及び委員の出席状況について事務局からご報告お願いします。

〇事務局

―配布資料及び委員会出席状況の報告―

〇会長

ありがとうございました。次に本日の審議会の傍聴についていかがでしょうか。傍聴希望はございますか。

〇事務局

本日は現在のところ傍聴の希望はありません。

〇会長

途中傍聴の方がいらっしゃったら、中へお入れいただいて結構ですのでよろしくお願いします。

２．議題１　台東区基本構想　中間の答申（案）について

〇会長

議題は、１．台東区基本構想中間の答申案についてということで、前回の審議会でさまざまなご議論いただきましたものを、事務局のほうで修正し、一つの案に再度まとめていますので、説明をよろしくお願いします。

〇事務局

―配布資料１「台東区基本構想　中間のまとめ（案）新旧対照表」について説明―

〇会長

ありがとうございました。将来像のところにかなり手を入れられたということと、従来の産業から始まる基本目標の順序を、人ということを最初に挙げて、最後に締めるかたちでまちづくりに関わることを入れられたということです。まず、この基本目標の入れ替えについて事務局のほうで、前回と一番大きく変わっていますので、どのような趣旨で変えられたのかをご説明いただけますか。

〇事務局

将来像の説明と若干重複する部分もありますが、先ほど将来像のご説明の中で、１段落目は人について、２段落目はまちについて、３段落目は人とまちを受けて世界に輝いていくという、そのようなまとめ方で整理をさせていただいたという説明をさせていただきました。当然この将来像を実現するための基本目標につきましても、基本目標１と２につきましては人に関する部分、基本目標３と４についてはまちに関する部分というかたちで、順番としては整理をさせていただいて、将来像と一致させている、そのような考え方で順番のほうは決めさせていただいています。

〇会長

ありがとうございました。区として人を最初に持っていくということの意味が非常に大きいということで、将来像を含めて変えられたというような認識を読んだときにしたのですが、そのようなお考えでということですか。

〇事務局

これまでの審議会の議論の中でも、やはり人について、各分野でもご審議の中でもそういったことが非常に多く触れられていました。やはりいろいろ検討していく中で、今後世界に輝くまちにしていくためには、人々がしっかり活躍しているということが当然大事になっ

てくる。今ももちろん大事ではあるのですけれども、そのようなことをしっかり打ち出して基本構想にしていきたいというような考えでまとめたものです。

〇会長

ありがとうございました。それでは今、中間答申案を、前回審議会から修正されたことについてご説明いただきました。これにつきましてご意見等あればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

〇委員

一点確認したいのですけれども、将来像の「世界に輝く　ひと まち　台東」というフレーズについて、前回キャッチフレーズなのかどうかを確認させていただいて、キャッチフレーズでこれを使っていくという回答があったかと思います。その辺の検討はどのようになっているのか。台東区をアピールするキャッチフレーズとしてこれを全面的に広告などにもいろいろ出していくのかということであれば、それはさすがにやめたほうが良いのではないかというお話をしましたが、その辺りはどうなっているか教えてください。

〇事務局

委員がご指摘になるようなキャッチフレーズ、そういった広告媒体に載せていく、そのようなものに使うという、その辺はまだ考えておりません。こちらはあくまで将来像としてまとめたものですので、こちらを区としては掲げて、しっかり基本目標を達成するように、さまざまな施策を行っていく、そちらの一つの大きな将来像として定めたものということです。委員がご指摘のような、そのようなメディア等に使うキャッチコピー的なものをつくる、つくらないも含めて、今回はまだそこまで正直詰めて検討しているわけではありません。前回私が申し上げたのは、キャッチコピー的に使えると良いというようなところで申し上げたのが、少し語弊があったのかと思っているところです。

〇委員

それでしたら結構です。これを広告媒体に載せていくということであると、もう少し考えたほうが良いかと思いましたが、計画の将来像としてということでしたら、良いフレーズかなと思います。全体を通じて各委員から指摘されたことが基本的に反映されていて、しっかりと統一されているかと思いますので、私としては、これは答申案ということで良いのではないかと思っています。

〇会長

ありがとうございました。委員お願いします。

〇委員

今日は基本構想に関する中間のまとめの審議ということで、確認させていただきたいのが、前回施策の方向性の資料として出していただいていて、ある種今まで小委員会で話し合われていた結論の部分を両方に分ける、というような話がありました。施策の方向性に関しては、今後また新たにどこかの機会でやり直すというようなことでよろしいですか。

〇事務局

審議会のほうに基本構想及び施策の方向性について諮問をさせていただいていますので、次々回以降になりますが、そのときには一度ご審議をいただく機会を設けたいと思っています。

〇委員

この間両方見せていただいた中で、基本の方向性がまだ足らなかったりする部分もあるのかと思っていたのですが、それはまた後日やるということなので、今回はこの基本構想のほうのお話をさせていただきます。本当にいろいろな議論の中で、いろいろな方々の意見を踏まえてつくっていって、本当にご苦労があったと思うのですが、一言で言えばよくまとまっているかと思います。本当に意見をきちんと取り入れて、足しているところは足していただいているかと思います。

ただ一つだけ、つまらないことですが、この将来像について、中点、がなくなっていて、これが平仮名になっているので、少し読みにくいかと思います。今、頭に入っているから分かるのですが、頭から抜いてしまうと少し読みにくいかという危惧があります。あとは将来像の部分で足された部分で、多様性の部分を１番最初にしっかり入れたり、また都市交流のところに災害対策が入っていたり、持続可能な行財政運営、先端技術の活用などというところもしっかり記載が入っている、順番に関しても議論の中でやはり人が重要であるということが挙げられたことを受けて、基本目標のところの順番もそれに合わせてやっていくという姿勢もありだと思います。この間、副会長のほうからも、まちづくりを最後にしっかりというところをご意見聞いているので、それもそうだなと私も納得しましたので、今回の案はよくできていると思います。

〇会長

一点、委員の質問の中で、中点、を取ったということの意図は何ですか。

〇事務局

庁内の検討の中で、将来像として打ち出していくときに、中点、というかたちが良いのかといった意見が若干ありまして、それで外してみてどうかというところも含めて検討したのですが、スペースを取っていけば読めるのではないかというところで、このようなかたち

にしました。特に大きな理由があって外したということではありません。

〇会長

ありがとうございます。資料３の２ページを見ていただくと、まさにアンダーバーが入って、人、まち、台東というところが出てきているので、鍵括弧を付けていますが、視覚的にいかがですか。委員、いかがでしょうか。

〇委員

どうしても受けてほしいというわけではなくて、この将来像の中間の答申案を見て、こう書くなら確かに見づらくはないかなと思ったのですが、最初のほうのもので見たときには、アンダーバーを外してみると、何か少し分かりにくいかなと感じました。どのような書体で書くのが良いかというのはあります。私どもは基本的にずっと議論をしているので、「ひと」と「まち」、「たいとう」というのが分かっているのですが、初めて見る人にどうなのかと思ったので、皆さんの意見を聞いてみたいというのも含めての意見です。特にそれほどこだわりがあるわけではありません。

〇会長

ありがとうございます。もう一つ確認したいのは、こちらのほうの最初にいただいた１のほうは、３段に分けて「世界に輝く　ひと　まち　たいとう」というのがあるのですが、こちらの資料３のほうは１行になっています。これはこの１行で良いということですか。

〇事務局

お答えさせていただきます。当初のこちらの、先ほどの新旧対照表でご覧いただいていたのは、実は前回お示ししたときに、ある程度冊子になったときのイメージをして構成をさせていただいたものですので３段書きになっているということです。ただ今回、区長のほうに中間答申としてお渡しいただく文書につきましては、文書の形態を重視していますので１行書きになっている、そのようなかたちでご理解いただければと思います。

〇会長

そうすると小冊子にしていろいろなところに配布するというところには、このような３段になる可能性もあるということですね。

〇事務局

その辺については今後検討していくことになりますが、このようなかたちもあり得るかというところは考えています。

〇会長

分かりました。ありがとうございます。他に何か、委員お願いします。

〇委員

前回、キャッチフレーズには、粋な、という言葉を入れたほうがよろしいかという提案をさせていただきましたけれども、文章の中に随分、粋な、という言葉も含まれて、文章はよくできていると思います。いわゆるキャッチフレーズよりも中身です。中身が肝心なことであって、キャッチフレーズはそこそこと言うとおかしいですが、中身がしっかりできていて、そしてまた地域のために、あるいは台東区のためにしっかりやっていただきたいというのがわれわれの気持ちです。ですから時代の流れでこのとおりうまくいくかどうか分からないので、適当にこの辺で良いかと思います。私は、この答申案は素晴らしいと思います。適当で最高です。だからもうこれでいったらどうですか。私が行政にお願いしたいのは、ともかくこのようなものをつくったら、しっかりと台東区のために頑張っていただきたいということです。ご苦労さまです。

〇委員

今、委員から非常に良いご意見をいただいて、賛成しますが、少し気になるのがあって、検討していただければありがたいということで申し上げたいです。先ほどのコピーの最初の「ひと」、「まち」のところです。これは、・（中ポツ）があるかなしかというと、見た感じとしては、今見ると私はないほうが良いのではないかという理解をします。そして、言い方として、捉え方で、「ひとまち」と続けて読むと、「ひとまち」で一つの意味があります。それはやはり台東区のこの説明文の中の意味合いだと思います。「ひとまち」という一つのくくりにして台東区がある、「ひと」と「まち」はばらばらではない、離れてはいないということで、事務局のほうではそれを工夫してうまく、これは半角空けたのか全角空けたのか、測ってみたいところでもあるのですが、それぐらいいろいろな苦労があったようなことを察するのです。ですから、これは空けるにしても、「ひとまち」と一つで読みたい、そして意味も含めたいと私は思ったところです。

それから二つ目は、この説明文の中の最後の行で、世界中の人々を惹きつける、とあります。これは、漢字はこのとおりなのですが、学生たちを指導してきての感覚ですけれども、大学生でもこれを、ひきつける、と読めるか心配だと思うところもあります。少なくとも台東区の中高生は読めると思いますので安心したいのですが、もう一回辞書で調べて、これで確かに良いのか、少し気になるところです。今、手元に辞書がなくて申し訳ないのですが、しっかり調べたいというところです。

それからもう一点、基本目標の中の二つ目の説明の中で、他の１と３と４は４段落に分かれています。この２だけが三つです。基本目標２についても「さらに」のところが入ってくるとリズムが統一するような気がします。もし「さらに」という言葉が付け加えられるなら、

他の基本目標とリズムが合うような気がします。あらためてこれを見て、前回言えば良かったのですが、４つのフレーズがあって、リズムがあるかなと思うのは個人的な意見ですけれども、医療分野はこれでいくといえばあれですが、ご意見をいただければと思います。４つが良いと思っていたものですから申し上げさせていただきました。

〇会長

ありがとうございました。一番大きな問題提起は、基本目標の２というのが３フレーズで終わるということについて、文字の数でそうはいかないですけれども、ここを工夫すれば四つの段落で他と整合性が取れるけれどもということです。ここは健康・福祉の分野ですがいかがでしょうか。それでは、大幅に付け加えるようであれば、また皆さま方に何らかのかたちでお諮りしますけれども、事務局のほうで再度検討いただくということにしたいと思います。他に何かご意見を頂戴できればと思います。他に全体を通してご意見ありますか。委員お願いします。

〇委員

資料３の８ページのところにイメージ図があるのですが、ここのⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳはローマ数字です。他のところにはローマ数字での表記が出てこないので、この辺の対応はどうなのかということをご確認ください。また、この１、２、３、４の順番をこのようにした意図というのがあれば教えてほしいです。

〇事務局

申し訳ありません。ローマ数字につきましては、こちらは直させていただきます。それから、この並びにしたというところにつきましても、少しデザイン的な部分から丸を並べたところがありまして、１、２、３、４の順番はもちろんこのような並べ方ということで並べてはいるのですが、その辺は特に意図があってこの位置にしたということではありません。

〇委員

例えば左上を１として番号を振るのか、あるいは、例えば数学の第１象限、第２象限に合わせて番号を振るのかなど考え方があると思います。

〇事務局

こちらの並び順につきましては、あらためて検討させていただきたいと思います。

〇会長

年寄りからいうと原案は泥棒回りという感じです。この辺はデザイン的なものもありますから、ぜひもう一回、視覚的にパッとご覧になるわけですから、中身はこれで良いわけで

すけれども、もう少しご検討ください。委員どうぞ。

○委員

イメージのところが、今回の基本構想がこのイメージを見たときに、ある程度想像しやすいものと考えたときに、真ん中の将来像で、世界に輝く、と入っていますが、ここに人を入れていただくと、人のイメージというか、人を取り巻いているこの基本構想があるというかたちで、真ん中に人のイメージ、人を入れるというのはどうかと思いました。ただ構想だけがめぐっているだけで、人があまり主体になっていないイメージを少し受けました。

それから、いろいろ私もインターネットで探してみたのですが、例えば浅草の雷門にある雷神のマークに勾玉のようなものがこのように四つあります。巴というのですか。台東区なので、これであると一個一個が個別になっているのですが、絡み合っているかたちであって、真ん中に人がいてというのがこの区らしいかと思いました。また、もう一つは区の花、アサガオも真ん中が四つに分かれていて、パートに分かれているので、この区らしさというのを出せるかと思います。区らしさがあると、区民にとってはすっと入ってくるかと思いました。

○会長

このイメージ図というのは、外部でデザインしてもらったわけではないわけですね。庁内で検討された結果ということですね。それは委員がおっしゃるように、外に出るものですから、デザイン的にも美しく、あるいは委員がおっしゃるように分かりやすく、その辺をご検討ください。いかがでしょうか。

○副会長

全体として非常に分かりやすくなっていると思います。恐らくその理由は、いろいろ対になっている概念、例えば人とまち、魅力と活力、そのようなものをきちんと事務局のほうで整理してくださって、文章の段落もきれいに整理していただいたので、全体的に非常に分かりやすくなっているのだと思います。もう中身を変えるということはないと思うのですが、細かい用語で、例えば最初の将来像のところの「社会のもと」というのが「社会の中」でのほうが良いかもしれません。そのような細かいレベルの話を再度事務局のほうで点検をしていただきたいと思います。

今、図のところで非常に重要なご指摘があったと私が思うのは、前回のものが、体系が木をひっくり返したようなかたちになっていて、一個から分かれて体系化されていたのですが、お互いにばらばらという話だったのを、恐らく事務局がその話を受けてくださって、この四つの目標を丸く並べて、考え方としては、図の描き方は問題あるのですが、一番上に将来像があって、それを四つの基本目標が次の層で支えていて、その一番下に区政運営という土台があるというかたちで図を表現していただいています。具体的な意見として、真ん中に人を入れることや、巴にすると格好良いかもしれないといったご意見をいただきましたの

で、そのことを区でまたご検討いただきたいと思います。全体が円環になっていて、上がこうなっているということが、恐らく今回ここで確認していただければよろしいかと思いました。前回の基本構想の図をもう一度見てみたのですが、前回と今回では全くある意味、同じ内容を含みながらも変えているというところが今回とても分かりやすくなったという理由だと思います。

一つだけこのことについて注文があるのですが、字を大きくしていただきたいと思います。今回のこれが非常に良いと思うのは、字の大きさがある程度以上大きいことです。自分も老眼が進んできてつらいと思うのですが、せっかくなので、もちろん最後のレイアウトデザインは最後になって良いのですが、恐らくこのような感じでパブコメに出して、というかたちになると思います。この図だけ字が小さいので、できる範囲でこれを大きくしていただき、全体として、もちろんどのような言葉を使うかということで、事務局のほうで頑張ってくださって、ほんのわずかを除いて外来語を全部分かりやすい言葉に入れ替えていただいて、途中でニーズだけは無理だということだったと思いますが、読むときにどのような人でもよく読めるように非常に工夫されていると思います。この基本構想の図もできればページを広めに取っていただいて大きくしていただくと良いと思います。本文になるべく字の大きさをそろえて、それ全体として全ての人に抵抗なく読んでもらいたい、委員会の委員の皆さんがここまで頑張って議論されたので、それを工夫していただければと思います。

〇会長

ありがとうございました。他にいかがですか。

〇委員

とても良いかたちでまとめていただいたと読ませていただきました。今気になってしまったところが一点あります。それは、この資料１の１ページのところで、基本構想とは、という説明書きです。区政運営の大方針というのは全くそのとおりです。ただ、区役所だけが何かをするための指針として読まれてしまってはいけないというところがあって、区民に何か区役所がサービスしてくれる、そのための基本構想ではないことを伝える必要があると思います。構想実現のためには行政のみならず台東区に居住する人、働く人、全ての人の積極的な参画が必要となります、この構想は行政だけがやるのではなくて、皆でつくっていく台東区の構想なのだということが一文加わると、良いものになると思いました。

〇会長

ありがとうございました。私から一つ、基本構想イメージという、イメージという言葉も使っていいですか。イメージというと、何か薄っぺらいような印象があります。他に何かありますか。よろしいですか。

〇委員

今おっしゃっていたイメージというところについて、他の計画などで、枠組み、という言葉を使ったりしています。それから、本当に細かいところで恐縮ですが、例えば基本目標の最初のところで、「子供」の「供」の漢字は行政の文書であると平仮名になっていることが多いような気がします。漢字であるのは何か意図があるのかということです。

それから、その文章の中で「創出」という言葉など、少し難しい言葉がよく使われています。よく私も息子に突っ込まれるのですが、「創出とは何」と聞かれて、「つくることだよ」と言うと、「じゃつくるじゃだめなの」と言われます。そのような多様な人という意味でいうと、簡単にできる言葉については極力簡単にしていただけると良いかと思っています。

〇会長

ありがとうございました。「子供」の漢字表記の件はこの間ご報告いただきました。他に何かありますか。

〇委員

いろいろな意見を逐一反映していただいて、全体としてはとても良くできているので、今日は意見を言うことはやめようと思っていたのですが、先ほどの基本目標の２のところで、３段落になっているというご指摘がありました。ここも良いかとも思ったのですが、大体他のところを見ると四つになっていて、しかも起承転結のようなかたちになって、非常に良い感じなので、ここのところも、「さらに」というようなかたちでつながると、非常に完成度が高まるかと思いました。他のところは大体そのような構成になっているように思いましたので、何とかそろえていただくと良いかと思いました。

〇会長

それは分野が二つに限られているからこうなってしまったのですが、その辺いかがですか。

〇事務局

今、委員のほうから起承転結というお話がありましたが、そのような意図でこの４段落を構成しているわけではありません。分野にこだわるとまた縦割りだと言われてしまうかもしれないのですが、例えば基本目標１であれば、子育て、教育、生涯学習の大きな三つのお話を述べた上で、４段落目でその三つをつなぐ、そのような文章構成を取っています。それは他の基本目標も同じで、第２項に限って言いますと、健康と福祉という二つの大きなまとまりがありまして、この二つを入れて３段落目でまとめている、そのような構成になっています。確かにバランスの面でいうと、ここの目標だけなぜ３段落なのかというご指摘はごもっともだとは思いますけれども、そのような考え方でこの文章はつくられているという点

についてはご理解いただければと思います。

〇会長

　ありがとうございました。当初の設定した分野がそれぞれの目標の中に出てきて、それぞれの分野を要約して、さらにまたそれを包括して最後のところでまとめるということですので、基本目標の２も二つの分野について概括して、そしてそれをまとめて３段落目が出てくるということになっているということです。ご了解いただければと思います。

〇委員

　今の説明でほとんどできているような気もするのですが、私が気になるのは、この２段落目で「また」と「さらに」という言葉を使うわけです。ある意味で一つ、最初のフレーズで、基本的な方向性と考え方を実現しますという言い方をして、またそれに加えてこのようなことをする、さらに、と発展的な意味合いがあって、それで最後に概括しているという、そのような４段落構成が１、３、４はあるように思います。可能ならば２のほうもそのような工夫にしてみると良いかと思います。どうでしょうか。可能なような気がしますが、お考えいただければありがたいと思います。

〇会長

　ご指摘の点、他と通して見たときに、また、さらに、まとめ、というものと、また、で終わってしまうということのご指摘で、分野というものはあるわけですけれども、その辺ひと工夫できないかというご指摘かと思います。事務局のほうで検討させていただきたいです。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

　それでは、いろいろご指摘いただいた点をもう一度持ち帰っていただいて検討をいただき、次回の審議会で区長への答申を行います。答申案については、私と副会長にお任せいただくかたちにさせていただいてよろしいでしょうか。

（異議なし）

２．議題２　その他

〇会長

　ありがとうございます。それではそのようにさせていただきたいと思います。「その他」という議題があるわけですが、その他についてご説明いただけますか。

〇事務局

　議題の「その他」につきましては、事務局のほうは特に議題としてはありませんので、もし何か全体を通してご発言がありましたらお願いできればと思います。

〇会長

よろしいですか。委員お願いします。

〇委員

大変良くできていると思います。ただ一つ心配というか、私どもは台東区民であり、東京都民でもあり、日本国民でもあるということで、台東区というアピールはもちろん良いのですが、近隣との協調ということを考える必要があると思います。基本構想の中間答申案にも、国内外の、特に地域との連携ということもありますので、台東区の隣は荒川区であり墨田区であり中央区であり文京区であるということにも関わらず、台東区を何か一つの国のような表現で強く出しているのですが、台東区を少し強調しすぎているような気もします。災害対策や広域的な課題に取り組んでいくことは重要であり、台東区をあまりアピールしすぎている感があるので、そこに近隣との協調という視点が欲しいかなという感じがします。

〇会長

ありがとうございました。連携、交流ということで、そのようなことも気持ち的に必要ではないかということがうまく表現できれば、それも入れていきたいと思います。その他全体的なことを通して、何かご意見ありますか。よろしいでしょうか。

それでは今後のスケジュール等の事務連絡がありましたらお願いします。

〇事務局

本日はありがとうございました。最後に次回の審議会についてご案内させていただきます。次回の第９回の審議会は４月 26 日木曜日の午後７時から、場所は本日と同じ会場、1002 会議室です。第９回の審議会では、中間答申をご検討いただき、会長から区長にお渡しいただくことを予定しています。その他、パブリックコメントの実施についてご報告することを予定としています。皆さま大変お忙しい中恐縮ですが、ご出席のほうをよろしくお願いします。事務連絡は以上です。

３．開会

〇会長

ありがとうございました。おかげさまで、皆さま方の熱心なご討議で、また事務局のほうでも努力していただき、ようやく中間答申案というかたちでまとめることができました。次回答申ということになるわけです。大変ありがとうございました。それでは第８回の審議会をこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

（午後２０時３０分　閉会）

（以上）